令和3年度事務事業評価表

事務事業名	+_/.~-	ごの選号	(メルラギ会	担当	課 企	画総務課	- 事業種別	白十市業
子切子 木石	トロップの運営(メルマガ含)			担当	係 企	画総務係	事未性 加	自主事業
開始年度	平成16年度 計画体系			まち葛飾」を実	見するための紀	且織をつくります	- (2)情報発信	広報活動の強化
根拠法令等	ホームペー	ジ運営要綱						
事業区分	事業 社会福祉 拠点			大運営事業	サービス	サービス 調査・研究・企画・広報事業		
事務事業目的	が実施する福知ってもらうこ	いつでもどこでも多くの方に葛飾社協を知ってもらうコミュニケーションツールとして活用し、葛飾社協が実施する福祉サービス等の最新情報を簡単に得ることができるようにする。地域の福祉情報などを知ってもらうことで福祉への関心や意識を高めてもらう。また、社協への意見や苦情をホームページを通じて双方向発信する。						
【事業内容】 1 ホームページを通じて、社協やボランティアセンターの情報を発信する。 2 「お問い合わせページ」や「苦情ページ」では、社協への意見や苦情を受け付ける 3 「お知らせページ」や「活動報告記」により、社協事業や福祉情報などを配信する。 【掲載内容】 ①お知らせ(最新情報) ②社協について ③サービスのご案内 ④事業や活動への ⑤その他の事業 ⑥地域福祉活動計画 ⑦小地域福祉活動 ⑧事業評価 ⑨イベン ⑩活動報告記 ⑪資料室				受け付ける。 配信する。 P活動への参	カレンダー			
	アクセス件	数 ┃ 訪問者数	月平均	再訪問者	新訪問者		レマガ党球石 年度	登録者数
実施内容	30年度	41, 268	3, 439	18. 2%	81. 8%	→ -	0年度	104
	31年度	42, 680	3, 557	18.0%	82. 0%	3	1年度	104
	2年度	94, 128	7, 844	22. 2%	77. 8%		2年度	104
	ホームページアンケート 結果							
	Q理解できたか Q見つけやすかったか							
	年度	回答件数	. 0	Δ	×	0	Δ	×
	30年度	71	63%	31%	6%	63%	31%	6%
	31年度	67	49%	43%	8%	49%	43%	8%
	2年度	33	69%	17%	14%	69%	17%	14%

	指標	指標の根拠	単位	区分	H30	H31(R1)	R2
活動	アクセス件数	第2次	世	ı	-		
動	アクセベ什奴	葛飾区地域福祉活動計画		実績	1	1	_
活動	新たなメディアの活用	第3次 目標 検討 葛飾区地域福祉活動計画 実績 検討	検討	実施			
動	利になどノイノの心力			実績	検討	検討	実施
		_		目標	_		
	_			実績	_	_	_

は ・ 備考 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
--	--

コスト内訳(千円)			内訳(千円)	H30	H31(R1)	R2
収入	特 財	定源				
48.7						
	一般	財源	(a)	1,510,996	2,067,472	3,285,030
	事業費 (b)		(b)	1,103,496	514,072	1,343,280
	職員。		‡費 (c)	407,500	1,553,400	1,941,750
		業務	5量(人)	0.05	0.20	0.20
支出 調整		費	(d)	0	0	0
		額	(e)	0	0	0
	退聙		战給与引当	0	0	0
				0	0	0
				0	0	0
		(控)	コスト対象外	0	0	0
トータル	トータルコスト (f=b+c+d+e)			1,510,996	2,067,472	3,285,030

単位当たりコスト(F	円)	H30	H31(R1)	R2
単位の定義			アクセス件数(件)	-
実績数値	(g)	41,268	42,680	94,128
単位あたり社協単コスト	(a/g)	36,614	48,441	34,900
単位あたりコスト	(f/g)	36,614	48,441	34,900

実施状況に 対する評価	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等をされた方に向けた緊急小口資金の特例貸付・総合支援資金の特例貸付の情報や緊急事態宣言の発令中の各種講座の延期や中止の情報を得るためか、平成31年度に比べ2倍を越えるアクセス数があった。社協ホームページは、最新の情報を提供するとともに各種の活動や事業を紹介するために欠かせない情報媒体である。令和2年度実施を予定していた、ラインやツイッターなど新たな媒体による情報発信は、令和2年度に試行し、令和3年5月から本格実施している。
今後の方向性 【継続】	SNSによる広報活動の効果を高めるため、令和3年度はフォロワーの獲得に力を入れていく。そのため、今後も年齢層に応じた情報発信に工夫を凝らしていく。なお、メールマガジンについては、ラインやツイッターなどで最新の情報発信を行えるようになったため、令和3年度をもって終了する方向で検討する。 ※ 第3次葛飾区地域福祉活動計画
	(ウェブメディアの活用) 令和3年度評価・検討予定